

## 竹野地域施設一体型小中一貫校 検討状況報告会 会議録

- 開催日 2024年2月21日（水）19:00～20:05
- 会場 竹野地区コミュニティセンター 多目的ホール（竹野庁舎2階）
- 出席者 参加者 48名  
教育委員会 7名

### ■ 質疑（要旨）

質問	回答
<p>予定では2025年の4月に開校との事だが、ちょうどその年に娘が中学生の年齢になる。制服が必要になるが、その子の姉の制服が残っている。新たに買い替える必要があるのか。他の学年でも、既存の制服の扱いはどうなるのか確認したい。</p>	<p>基本的には、学校やPTAで制服のルールを決めていただく事になる。教育委員会としては、なるべく保護者の負担が少ないようにとお願いをしている。既存の制服がある方は、買い替えのタイミングで新しい制服にされる学校が多い。</p> <p>参考までに、義務教育学校では、5年生から制服を採用しているところもある。そういったことも含めて、制服については学校やPTAで引き続き検討していただく。</p>
<p>学校施設について、ゴムチップのグラウンドなど、とても素敵なお学校だなと思った。全年の昇降口もバリアフリー化されるが、昇降口から入って、低学年棟へ渡る通路は階段だと思うが、ここもバリアフリー化されるのか。</p>	<p>階段とスロープを両方整備して、スロープは車椅子等に配慮したゆるやかな勾配にしている。</p>
<p>教育課程について、ワークショップや保護者アンケートがあったと思うが、当事者である子ども達の思いも反映して欲しい。主役は子ども達なので、保護者の思いも大切だが、子どもたちを巻き込んで学校を作っていくと思う。“自主性を育てる”とか“自分で生きていく力を身に着ける”といったところに大人の意見だけを押し付けるのではなく、子ども達が考えて意見を出せる場を設けて欲しいと思うが、そのような機会はあるのか。1回だけではなく、みんなの意見を聞くことで新しい意見が出てくると思うので、何回か、子ども会議ではないが、クラスや地区単位など、やりやすい方法で検討して欲しい。</p>	<p>ワークショップで地域の方や保護者から意見をいただいたが、同じような内容で児童・生徒からも意見を聞くスケジュールになっている。</p> <p>説明の中にもSTEAM教育というものが出てきたが、学びのポイントが“探究”になってきている。今の子どもたちが大人になった時に、本当に何が起こるか分からない時代に、どういう力を発揮するのかという事に教育がシフトチェンジしている。STEAM教育は、最初はSTEMという理数系だけの勉強だったが、色々な教科を跨って勉強していくことが求められてきている。探究は、体験をして終わりではない。例えば、いかだ下りをして楽しかったで終わりではなく、竹野川はどんな歴史で作られたのか、どんな物流があったのかといった探す学習を展開していかなければならない。</p> <p>文学“走れメロス”を読んで探究した子どもがいた。メロスが走った距離を調べる（地理）、走った日数で時速を調べる（数学）、環境を調べる（理科）などして、結論は、思ったよりも走った距離が短く、歩いても十分間に合う日数だった、という笑い話がある。このようにどんどん広げていくような学習、STEAM教育と聞くと難しそうだが、色々な教科を横断していく、結び付けていく教育が出来る。</p>

	<p>子ども達の意見を取り入れて欲しいというのは、まさしくそのとおりで、検討当初から、教育委員会主導とか地域の方だけにお任せするのではなく、教育委員会、学校の先生、地域の方が一緒になってより良い学校を作っていくために進んできた。いよいよ設計が出来あがってきたので、これからは子ども達の力を借りて、子ども達の意見をどんどん吸い上げながら、より良いものを一緒に作っていきたいと考えている。子ども達の意見を聞く機会は、学校と相談しながら検討していく。</p>
<p>義務教育学校になるにあたり、子ども達には大きな環境変化になると思うが、心のケアとフォローは。</p>	<p>義務教育学校は豊岡市で初めての取組みになるが、これまでの学校統合においても、統合して終わりではなく、数か月後、1年後という追跡を実施している。学校の先生にも、非常に丁寧に子ども達の様子を見てもらい、アンケートの分析をしてもらっている。義務教育学校に関しても、これまでと同様に心のケアにしっかりと取組みたい。</p>
<p>このような機会に参加すれば質問や意見交換が出来るが、普段から意見や質問を受け付けている状態なのか。例えば市のホームページに問い合わせフォームなどが設置されているのか。前回の説明会にも参加したが、これまでに色々と思った事があっても、どこに問い合わせたらよいか分からなかった。情報発信もあまりなかった。開校までは相当期間があるので、随時間い合わせを受け付ける窓口を開設するような検討は。</p> <p>情報発信について専門のサイトを開設するとか、例えばLINEのグループ登録をすれば、質問や回答が全員に共有できる。</p>	<p>市のホームページには課ごとに問い合わせフォームがあり、そこに入力してもらえば担当に届く。</p> <p>また、本日のアンケート用紙にも、情報発信の方法について尋ねている項目がある。現在はホームページや委員会だよりの全戸配布を中心に情報を発信しているが、プッシュ型の情報発信なども必要ではないかと考えており、どのような発信方法が情報を手に入れやすいかを伺いたい。すべてに対応出来るかどうかは分からないが、今後の参考にさせていただく。地域の皆さんが“知らなかった、聴いていない”とならないよう、なるべく丁寧に対応しているつもりだが、媒体が限られているため、工夫しながら対応を検討したい。</p>
<p>現在、中学校の部活動は必須となっているが、選択肢が非常に少ない。文化系の部は吹奏楽部しかない。今回の再編で変わるのか。選択肢が増えるとか必須でなくなるとか、考え方は。</p>	<p>十分な検討が必要と考えている。これまでどおりという事ではなく、地域にとってより良い形をこれから検討する必要がある。来年どうなるか明確ではないが、国や県も地域の力を借りようという流れがあり、指導者や、どの部を開設するかといった事を含めて、“竹野モデル”の十分な検討が必要で、教育委員会も支援したいと考えている。</p>

## ■ 意見交換（要旨）

<p>小学校の1・2年生を対象に、我が家の畑で芋掘りをしている。こういった事を、個人ではなく学校行事として、他にも、田植え体験や杵と臼での餅つきなど、昔からあって今は廃れてしまっているものを体験させたい。</p>
<p>今日、STEAM教育の話聞いて、ひとつ行事を実施するだけで、こんなに沢山の事に拡げて学習出来ると思うと、体験的な行事はすごく大事だと感じた。竹野川の事を環境問題に拡げたり、塩作りを理科に繋げたりと考えると、行事は大事だとあらためて思う。小中一貫校になるので、この機会に、タテの繋がりを大事にした、学習にも拡がる行事がもっと増えたら。学習時間の確保で先生方は大変で、行事も入れにくいかもしれないが、子ども達は心に残る時間になると思う。現在の竹野小学校は、行事が少ないかなと感じる。大人主導ではなく、子ども達からどんどん考えが出て拡がればいい。STEAM教育は素敵だなとあらためて思った。</p>

以上